

<目次>

年度評価の方法について	1
評価 斤男 楡帽傳柳/	1

(小項目評価の基準)

《評価結果の記述について》

評価結果の記述は、基本的に以下の考え方に基づいて行った。

(1) 全体評価

【評価結果と判断理由】

全体的な取り組み、項目横断的な取り組みを含む業務実績全体を通じての評価結果と判断理由を記述する。

【全体的な実施状況】

重点的な取り組み及び特筆すべき取り組み

全体的な取り組み、項目横断的な取り組みについて、大学法人が特に重点的に取り組んだ事項を記述するとともに、項目別評価において特筆すべき状況にある主なものについて、客観的な進捗状況等を記述する。

遅れている取り組み

項目別評価において遅れている状況にある主なものについて、客観的のり況にお

1 全体評価

3 全体評価としては、「第1 教育に関する項目」及び「第2 研究に関する項目」の進捗状況とあわせ、平成29年度の年度計画をおおむね計画どおり進めており、中期目標を順調に実施されたものと認められる。

平成29年度では、大項目においてC評価（やや遅れている）やD評価（重大な改善事項あり）とする項目はなく、大学法人が真摯に改革に取り組んでいることが認められる。今回の評価結果を活用し、積極的に改革・改善を行うことにより、大学運営全般が一層充実することを期待するものである。

【全体的な実施状況】

重点的な取り組み及び特筆すべき取り組み

よ 暫 年 土 雲 艘 倉 嶺 組 が 環 錘 疔 仔。

て お り 全 去 す わ 栗 淑 栗 娵
よ 暫 年 土 雲 艘 倉 嶺 組 が 環 錘 疔 仔。

て お り、 淑 わ 座 土 ご め

【全体評価にあたっての意見、指摘事項】

2 項目別評価

大学の教育研究等の質の向上に関する項目

第1 教育に関する項目

【進捗状況の確認結果】

「教育の内容及び教育の成果」、「教育の実施体制等」、「学生への支援」の取り組みについては、年度計画を計画どおり実施しているものと認められる。

【実施状況】

特筆すべき項目

- ・「語学センター」における新語学カリキュラムの準備
習熟度別クラス編成の効果をより高めるため、学部学科の枠組みを越え、全学部の学生が同じ時間帯で語学科目を履修できる時間割を編成した。
- ・理学系新学部の設置
(「1 全体評価【全体的な実施状況】 重点的な取り組み及び特筆すべき取り組み (P.6) 参照」)
- ・学生に対する支援の強化
(「1 全体評価【全体的な実施状況】 重点的な取り組み及び特筆すべき取り組み (P.6) 参照」)

遅れし 珍冬学 1 虫 甲き 訳 離 険 電 9 且 婁 参 照 」 わ 芟 育 瑜 率 獅 羔 井 禪 に 状 祈 f 特 筆 墩 悉 お よ e

・教育改革フォーラムの開催を通じた教員のさらなる教育力の向上

教養教育のあり方に大きなインパクトを与える高大接続改革に向けた教職員の意識啓発は重要であり、「高大接続と大学教育改

櫻井公純 産大 単 屯 刑 公 改革 フ 公 辰 大 育 9 ぜ 琶 9

第3 社会貢献等に関する項目

【評価結果】

S

(参考)小項目評価



第5 附属病院に関する項目

【評価結果】

A

【評価にあたっての意見、指摘事項】

- ・ 健診施設「ミッドタウンクリニック名駅」との連携
健康増進等を目的とした共同研究について具体的な成果が出ることを期待したい。

業務運営の改善及び効率化に関する項目

財務内容の改善に関する項目

【評価結果】

(参考)小項目評価

A

自己点検・評価、情報の提供等に関する項目

その他の業務運営に関する項目

【評価結果】

B

3 参考資料

【委員名簿】(50音順)

氏 名	役 職 等
内田 淳正	三重大学 学長顧問
小笠原 剛	(株)三菱UFJ銀行 顧問
佐分 晴夫	名古屋経済大学 学長

